

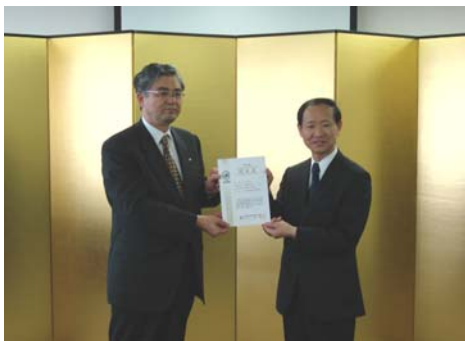
【熊谷組安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）が 建災防から全社認定 第1号を取得しました】

熊谷組はこの度、建災防（建設業労働災害防止協会：錢高一善会長）から「COHSMS（建設業労働安全衛生マネジメントシステム）認定証」を全社に対し取得しました。

建災防は、従来から実施していたCOHSMS評価サービス事業を基に、評価項目・評価方法等の見直し・整備を行い、2008年4月よりCOHSMS認定事業をスタートしました。
熊谷組の認定は第1号です。

熊谷組安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）は、本社主導型のシステムであり支店、作業所を統括していることが特徴であり、昨年から行われていた5支店（四国、広島、首都圏、関西、北陸）のCOHSMS評価に続き、今年4月に本社の評価をした結果、性能規程的考え方を重視した認定基準により全社のシステム構築・運用が認められたものです。

※COHSMS認定事業：COHSMSガイドラインに基づいてシステムを確立して実施している建設事業場に対し、システムの構築・運用状況を認定基準に従って評価し、システムの実施状況が認定基準に適合している建設事業場を認定する制度



5月15日に交付式が建災防本部（東京・港区）で行われ、田中安全本部長に対し建災防伊藤専務理事より「COHSMS認定証」が手渡されました。

【伊藤専務理事の談話】

4月からの新事業は業界に注目されています。

建設業の死亡災害件数は500名を下回る中で、更に減少させるには個々の企業の努力が今後の課題になると考えています。トップの強い意志とシステムの運用により実績をあげた熊谷組が認定取得したことは大きな意味があります。

【田中安全本部長の談話】

この度、全社の認定を取得出来たことは身の引き締まる思いであり、全社員の励みです。今期のスローガンに“心ひとつ”とあげていますが、全員で更に安全管理の向上を図り、災害ゼロを目指します。



式の後、記者会見が行われ、質問に対し田中本部長は、「当社の安全成績は平成11年のOSHMS導入後、確実に向上しており、安全理念にある人命尊重を最優先した安全管理を社外に公表して行く。お客様の安全・安心の関心が高まる中、システムの継続と更なる向上を図って工事の安全を追求して行くことが次の事業に繋がるものと確信している。」

COHSMS認定のパフレットを作成します。これは発注者や労働局、労働基準監督署等に配布し、当社の安全管理をアピールするとともに、自ら切磋琢磨して、強い意志で災害ゼロを目指すものです。

